

12  
2941  
1



謝 馨 未 子 真 利

泰山香巖

景星慶雲

聖賢出處

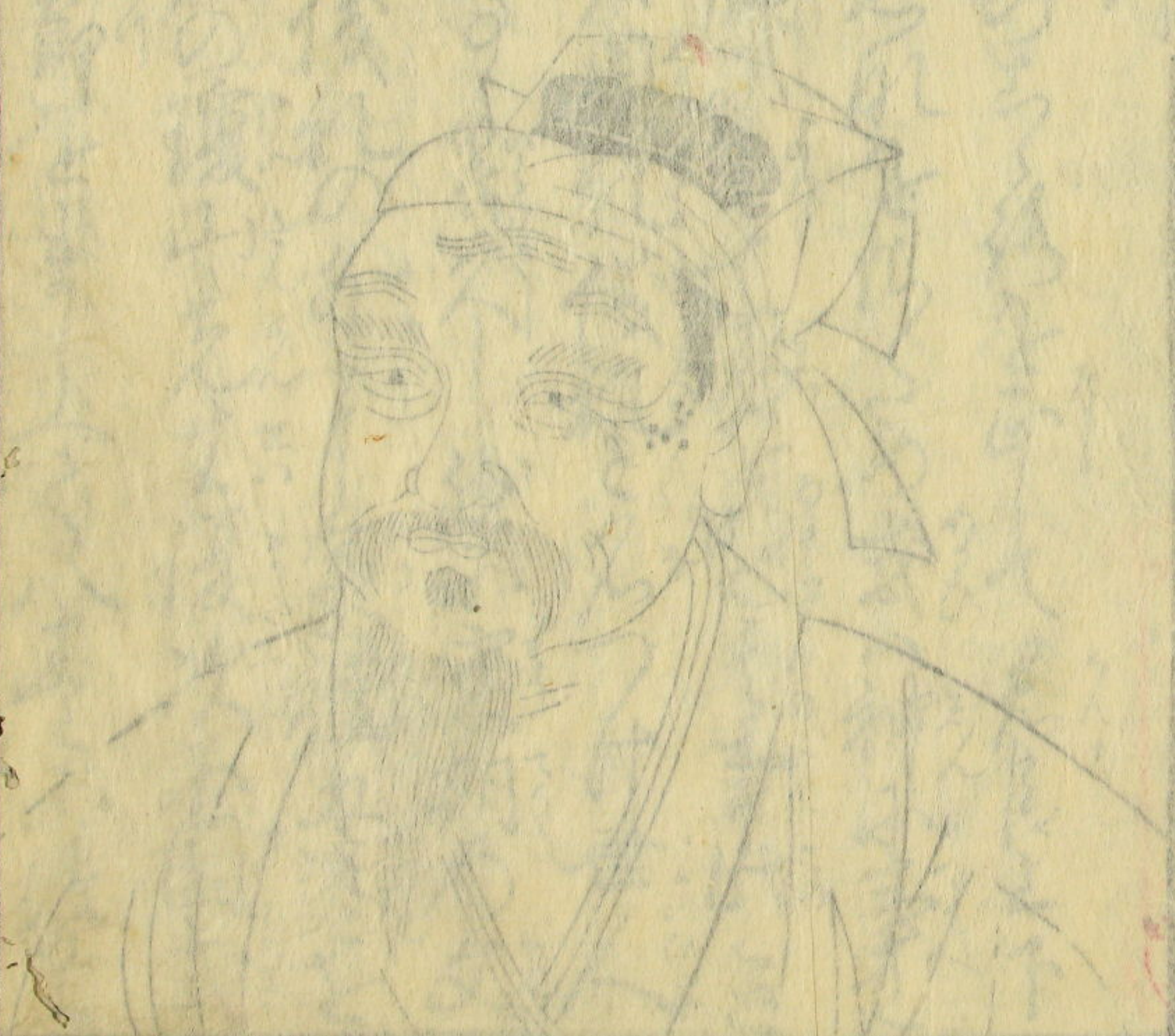
真精出方

容賦天高

山嶺開闢

巖絲出步

漢庭含漱



六甲

勿



12  
2941  
1

瞻 養 未 心 眞 像

義璣令微  
蠟絲出毛  
心肯開船  
溶瀾天高  
羸儻出才  
聖賢出學  
景星盡雲  
泰山高嶽



去五味均平蔵

大和家礼序

夫礼乃夏人之古俗也... 夫子兄弟也... 禮と致し... 夫先先生周礼儀礼の... 何れもよの朝の獲山先生復次小園式... 儀節をすまへ

大和家礼序



こがりむらさねまをくわむしる也是ハ  
 くらわさきくみんなるはさしもの  
 礼多し終りきふきさうい俗よき  
 一じとつふふ文ふもれち也け弁三  
 先生れんしもうきてぬむ誤あり  
 平原乃濕いうて高ふたん大山の後  
 ろんろ原きふあふさむれれとあく  
 死あして知んそれ子何らあめて  
 毛子婦よけえたまふるさりの歌

大和文公家礼書之一目録

- 才一 祠堂の事
- 才二 油神を奉養の事
- 才三 祭回と奉養の事
- 才四 祝板の式并祝文の事
- 才五 祭乃るるの事
- 才六 子生れる時祠堂に奉養の事
- 才七 神主の事
- 才八 左蓋の事
- 才九 横の事
- 才十 祭衣の事



中十一 大帯の事  
 中十二 溜冠の事  
 中十三 幅巾の事  
 中十四 墨履の事  
 中十五 通礼の事

大和文の家礼を記す

通礼 五礼とは子おねの礼をとりて也

中一 祠堂の事

一 祠堂の先祖の位牌とあがめと堂の名也  
 二 柱と廊とつらなり。と天下とをたせめ給ふ  
 三 今より下万民よりつらあまそとらとて家  
 四 名をつらあま。まづ一とんは祠堂とてあまを  
 五 ひがしをまきと。そのはまそれくの棟敷とては  
 六 きふあり。祠堂の廊とてひがしよりとらとて  
 七 れはまのありた。まづ一とんは祠堂とてあまを  
 八 まねの事。その祠堂の周より廊とてあまを

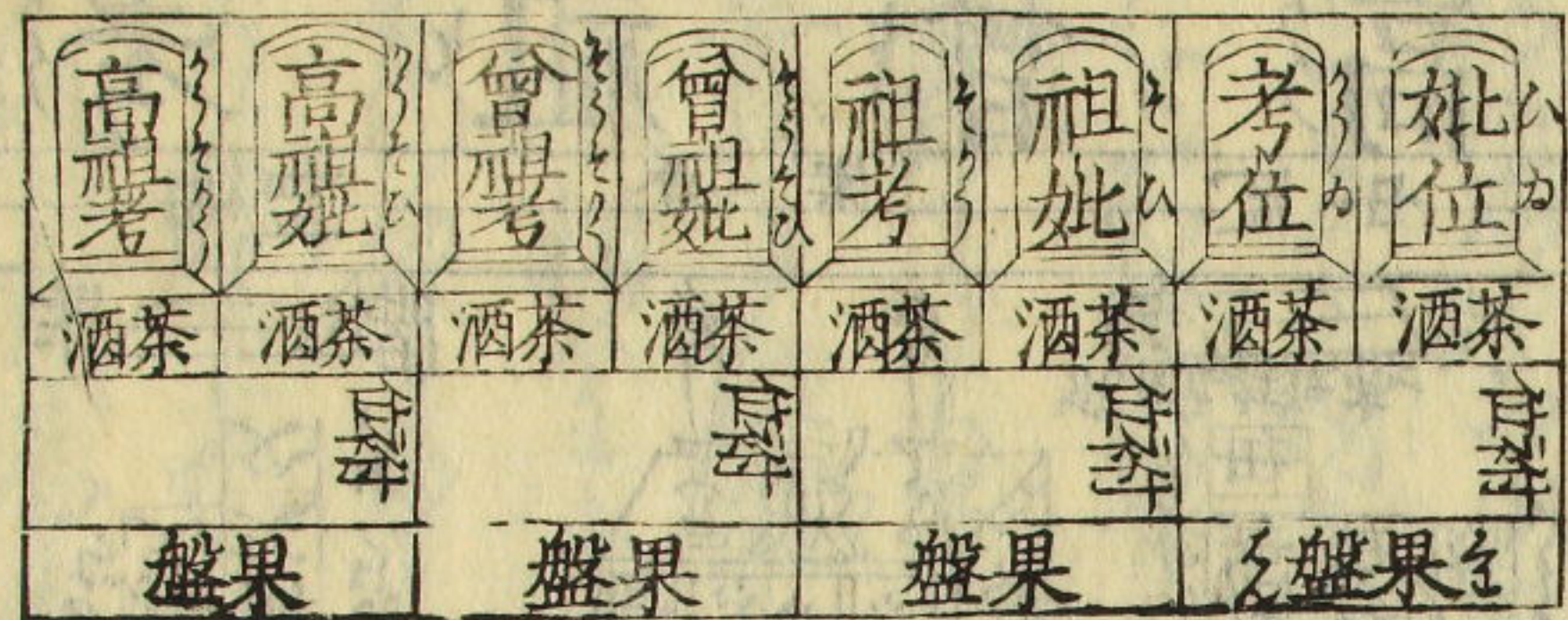
大和文の家礼を記す  
 中一 祠堂の事  
 中二 溜冠の事  
 中三 幅巾の事  
 中四 墨履の事  
 中五 通礼の事







祠堂時節陳設之圖



香案

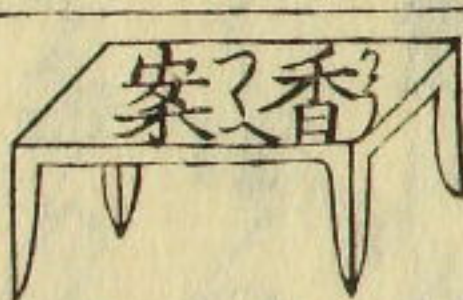
主人  
主婦

拜位

茶瓶  
酒瓶  
香盤

祝版

西階



巾盥

西階

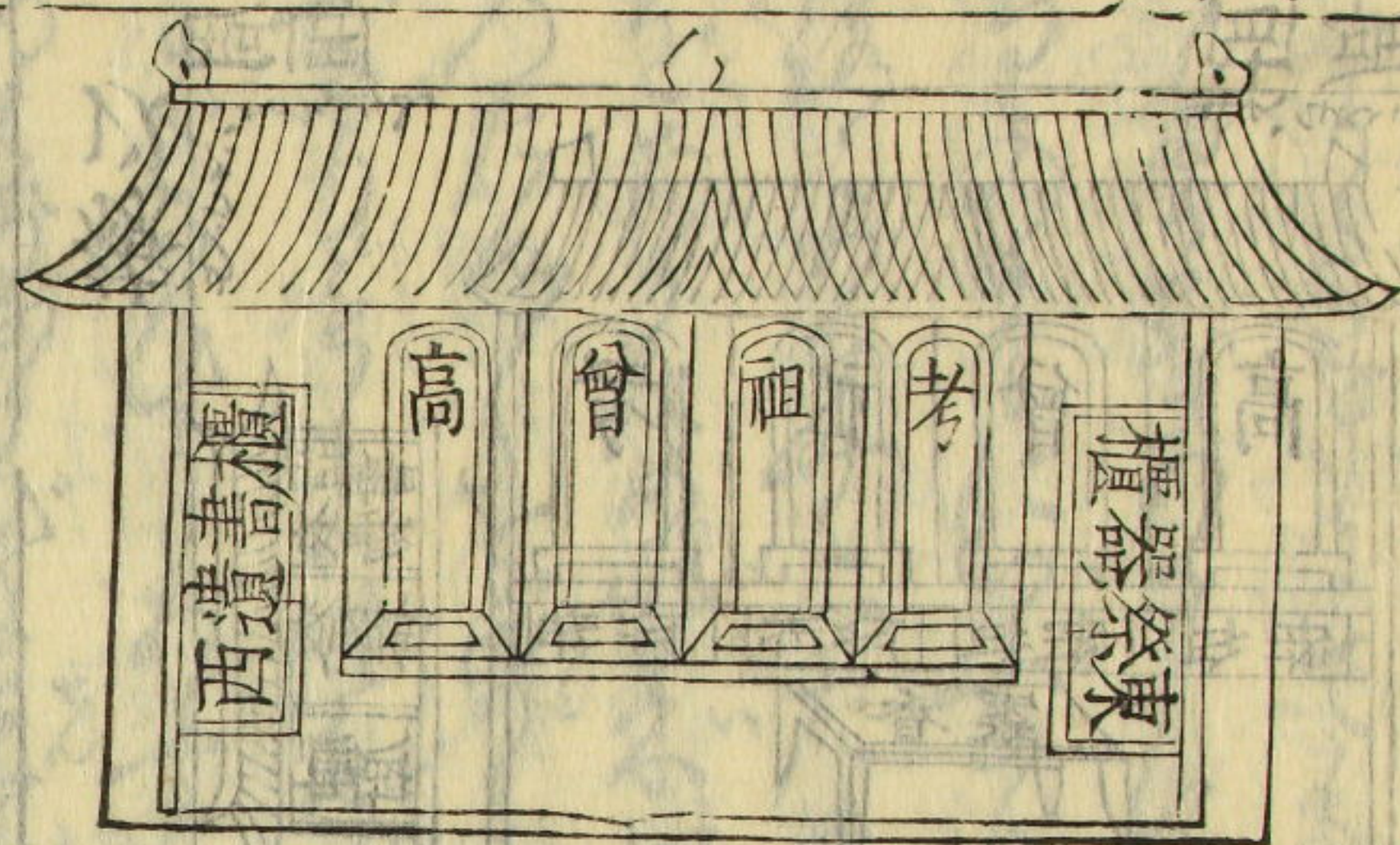


通祀の中西...  
 一、高祖の位は...  
 二、曾祖の位は...  
 三、祖考の位は...  
 四、祖妣の位は...  
 五、考位の位は...  
 六、妣位の位は...  
 七、香案の位は...  
 八、祝版の位は...  
 九、巾盥の位は...  
 十、西階の位は...

大社考

又

祠堂挾間之圖



香案

家衆叙立之位

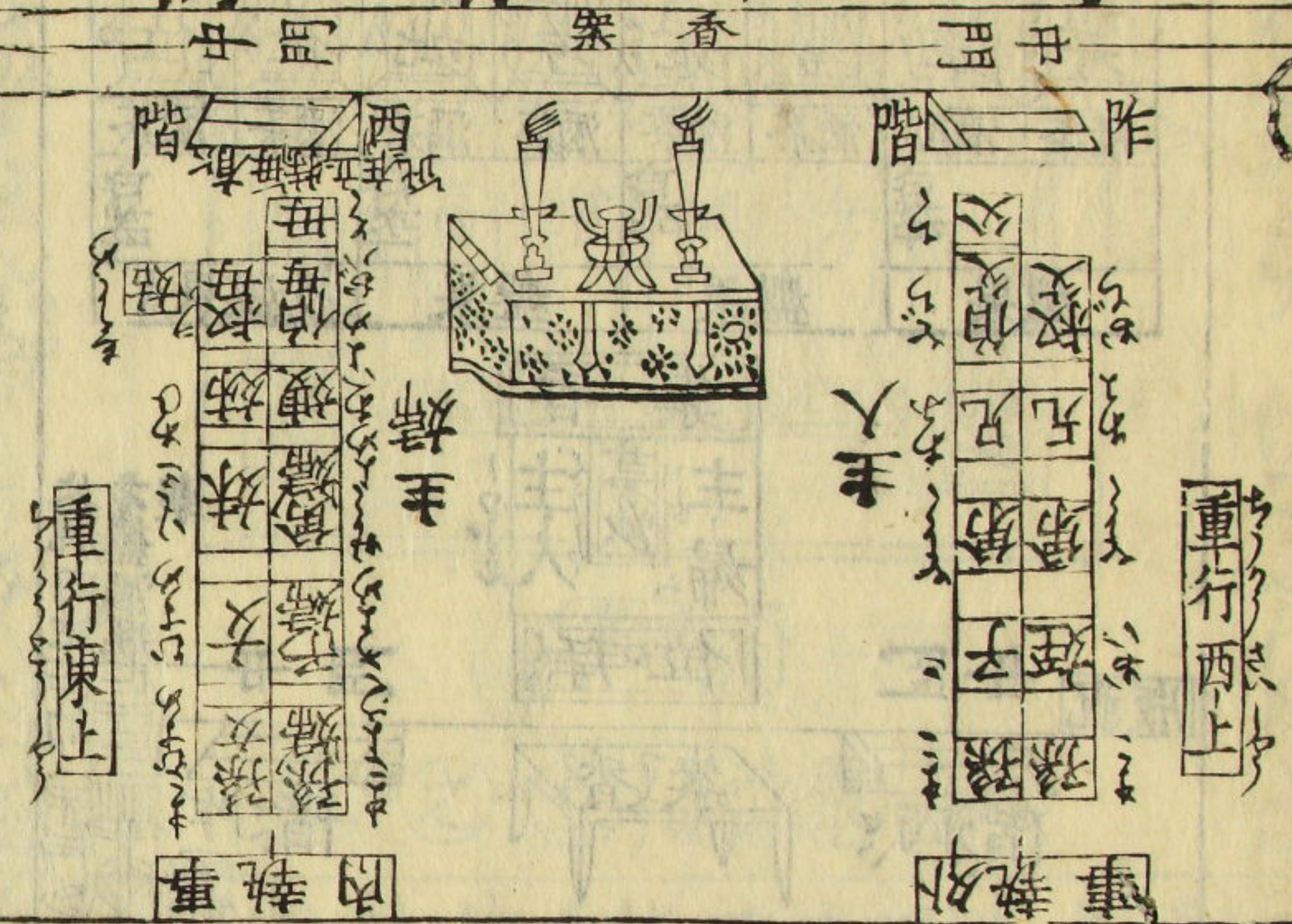
この図は祠堂の挾間をあらわす。高、曾、祖、考の四柱は、それぞれ高祖、曾祖、祖考、祖妣の位をあらわす。西櫃、東櫃は、それぞれ西階、東階の位をあらわす。香案は、祠堂の中央に置く。家衆叙立之位は、祠堂の西階に置く。

祠堂の中央に香案を置く。西階、東階にはそれぞれ西櫃、東櫃を置く。高祖、曾祖、祖考、祖妣の位は、祠堂の中央に置く。家衆叙立之位は、祠堂の西階に置く。

大社考

四

家考 衆叙之圖 祖考 曾高



神は主のあはれに  
あつてこそ後小淵也  
子孫が親するは主の  
しるあり。才婦し  
おひもつてのりな  
るぬのち小淵あり  
そとに附子孫の婦女  
におひに親するは  
れしるありゆえに

中二 神と納ふ家考の事

家考の事より厨子のも事あり。その家考と云ふ  
つては。神を納むる内ふあり。家考の内ふあり  
ふとて。神あり。一人の家考。高祖父二人  
れ家考一人の祖父。と云ふ。此家考一人の祖父。家  
の家考。一人の父と云ふ。この家考。一人の父と云ふ。  
入祠。家考一人の父と云ふ。一人の父と云ふ。一人の父と云ふ。  
家の中。家考一人の父と云ふ。一人の父と云ふ。一人の父と云ふ。  
あり。家考一人の父と云ふ。一人の父と云ふ。一人の父と云ふ。  
とれ。家考一人の父と云ふ。一人の父と云ふ。一人の父と云ふ。  
かり。家考一人の父と云ふ。一人の父と云ふ。一人の父と云ふ。



義門鄭氏祠堂位次圖

小宗	大宗	小宗
會祖考	高祖考 義門第四世祖考	曾祖考 義門第四世祖考
祖考	高祖妣	曾祖妣
考	祖妣	妣

永為不遷之祖世世之家長祭之

此圖は、義門鄭氏の祠堂位次を示す。左に小宗、中央に大宗、右に小宗とあり、各々の祖先を考へて列す。永為不遷之祖世世之家長祭之とあり、此の意は、鄭氏の宗廟に於て、永く不遷りて祖と爲るべき世世の家長を祭ること也。

大宗小宗圖

始祖 有封爵者 為始祖	高祖至 玄孫為繼高祖小宗	會祖至 玄孫為繼會祖小宗	祖至 孫為繼祖小宗	禰子為繼禰小宗
始遷及祖 子孫	長子繼之 世世為大宗	統從兄弟 統再從兄弟	統從兄弟	統親兄弟
始遷及祖	長子繼之	會祖至	祖至	禰子為繼
為始祖	為大宗	會祖	祖	禰子

此圖は、大宗小宗の別を明かにする。始祖、高祖、會祖、祖、禰子の各々の継承方法を示す。長子繼之、世世為大宗とあり、此の意は、長子が世世に大宗と爲るべきこと也。

五世並列之図

顯顯	曾曾	始	高高	祖祖
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—

の義の〇と名を考と  
 並列はたゞいふ考と考  
 の考と考と考と考の考  
 と考と考と考と考と考  
 考と考と考と考と考  
 考と考と考と考と考  
 考と考と考と考と考  
 考と考と考と考と考  
 考と考と考と考と考  
 考と考と考と考と考  
 考と考と考と考と考

四世之図

顯顯	曾曾	高高	顯顯
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—
—	—	—	—

の考の〇と名を考と  
 並列はたゞいふ考と考  
 の考と考と考と考の考  
 と考と考と考と考と考  
 考と考と考と考と考  
 考と考と考と考と考  
 考と考と考と考と考  
 考と考と考と考と考  
 考と考と考と考と考  
 考と考と考と考と考  
 考と考と考と考と考

大和家系

中三 桑田のなま

一桑田は我田比乃うらと。乃ら不登ドて。とて  
比桑田の八月のあけと。なま存生の時  
桑田といひ。おそののね墓田といひ。なり。けい  
み。乃の初の日。又田比といひ。乃人おのり  
か。商人の初の日。田比といひ。乃商人の  
く。乃商人の初の日。乃商人の初の日。乃商人の  
お。又。乃商人の初の日。乃商人の初の日。乃商人の  
う。乃商人の初の日。乃商人の初の日。乃商人の  
う。乃商人の初の日。乃商人の初の日。乃商人の

時はあつた。借金より。乃とら。乃先田比といひ。  
あ。乃商人の初の日。乃商人の初の日。乃商人の  
し。乃商人の初の日。乃商人の初の日。乃商人の  
え。乃商人の初の日。乃商人の初の日。乃商人の  
あ。乃商人の初の日。乃商人の初の日。乃商人の  
あ。乃商人の初の日。乃商人の初の日。乃商人の  
あ。乃商人の初の日。乃商人の初の日。乃商人の  
あ。乃商人の初の日。乃商人の初の日。乃商人の  
あ。乃商人の初の日。乃商人の初の日。乃商人の  
あ。乃商人の初の日。乃商人の初の日。乃商人の  
あ。乃商人の初の日。乃商人の初の日。乃商人の

中三 税板の式并 祝文の事

一税板乃或は板のかぐさ一尺だつと。乃商人の  
乃商人の初の日。乃商人の初の日。乃商人の  
乃商人の初の日。乃商人の初の日。乃商人の  
乃商人の初の日。乃商人の初の日。乃商人の  
乃商人の初の日。乃商人の初の日。乃商人の  
乃商人の初の日。乃商人の初の日。乃商人の  
乃商人の初の日。乃商人の初の日。乃商人の  
乃商人の初の日。乃商人の初の日。乃商人の  
乃商人の初の日。乃商人の初の日。乃商人の  
乃商人の初の日。乃商人の初の日。乃商人の  
乃商人の初の日。乃商人の初の日。乃商人の

多能のたうとて中つとそねまは經文を  
焚て經文のうらうらとそねのらくまを二月八  
日家ナリ。經文

維

〇〇某年歲次于支某月于支某日于支

某日于支存玄經某官姓名經

若

止若官祀  
若官祀  
若官祀  
若官祀

顯高祀考某官府君

顯高祀考某官府君

顯高祀考某官府君

所稱  
某官祀  
某官祀

顯高祀考某官府君

顯高祀考某官府君

顯高祀考某官府君

顯高祀考某官府君

顯高祀考某官府君

顯高祀考某官府君

恩授某官某官奉

先刑獲帝位所及之務成慕

以酒果用仲

若

某官祀  
某官祀  
某官祀

遷

主人おのり富子こりつとりのつりそり日  
 ありぬまばおくらやく物とて身とまよある水  
 とはひひとふはとらり位牌れ横としつゝあ  
 わるゝと新し葉海とうあふ書東のま年  
 葉紙り書は祝文と書。そりよ芽吹と書。又  
 早子れはひりの身よ。み刷子粉をまもつ書は  
 とらりてつとららるゝ書。東のあひひごまつと書  
 とたつと主人昔曰者男某姓を新書追信  
 既考某官府者為某官。此某封某氏為某  
 封敬信神を改形なり。とらりつりつり  
 身と年ふ者位牌と早子のとらると書入字と

わらひふらと極とわり。あまけとかり。これ書  
 り。とらるゝ官府とわらふ小書あけつらぬ某子  
 とわらひつゝあふと官方の聖れとそらつて位  
 牌と横乃よりととと。とらりつりつりつり  
 ひひとららるゝ書と禁とすとそらら。と度れね  
 とらゆ也又まぬ茶湯とつとた度とらひと海つと  
 祝文とつらとつらなつとつら。身と年よ古ら也  
 白人下親親みあひひと海つとれおつりて  
 のら。多とたつ。祝文とやき。又と度れね  
 て位牌と横乃れとら也。

祝文



維 年歲次月朔日辰戌  
存男某官姓名

取昭告于 封及祖訓 補

顯考某官府君

顯妣某封某氏

某奉 弟

先朝 編福干

官仁推 恩正至乃某月某日

浩始考為某官此為某封 惟是

吾官日在進表 應臣後在 贈字上如字

命書且喜且忠教 錄以焚益 培象 演 福 以

酒果用伸 虔

昔謹告

才又 祭乃 祭乃 此 事

倚子 阜子 休 席 香 炮 香 合 香 匙

燭 香 芽 沙 盤 松 板 酒 酒 香 香 香 香 香 香

茶 碗 茶 碗 香 梳 四 箸 酒 樽 白 水 盤 出 席

身 掛 掛 如 香 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃 乃

肉 小 入 香 香 香 香 香 香 香 香 香 香 香 香

け 印 印 香 香 香 香 香 香 香 香 香 香 香 香

あ 印 印 香 香 香 香 香 香 香 香 香 香 香 香

あ 印 印 香 香 香 香 香 香 香 香 香 香 香 香

あ 印 印 香 香 香 香 香 香 香 香 香 香 香 香

才六 子の生れたる時 祠堂へ参りて  
 松原と申すけり。その生れたる時 此の  
 月 主母もふも女とけり。祠堂へ参りて 佐  
 原の権と申す。わが女と申す。産と申す  
 て 多葉のちよひと申す。もたたらと申す。夜  
 礼ねとして。我をよまどり。又之夜礼ねして。酒  
 と茶湯と申す。母のしるしと申す。佐原  
 のむいして。何の婦何のむいと申す。何年か  
 何月何日の何何と申す。何と申す。何  
 付まふと申す。何と申す。又之夜礼ねして  
 て。もたたらと申す。入るも也。家と申す。松原

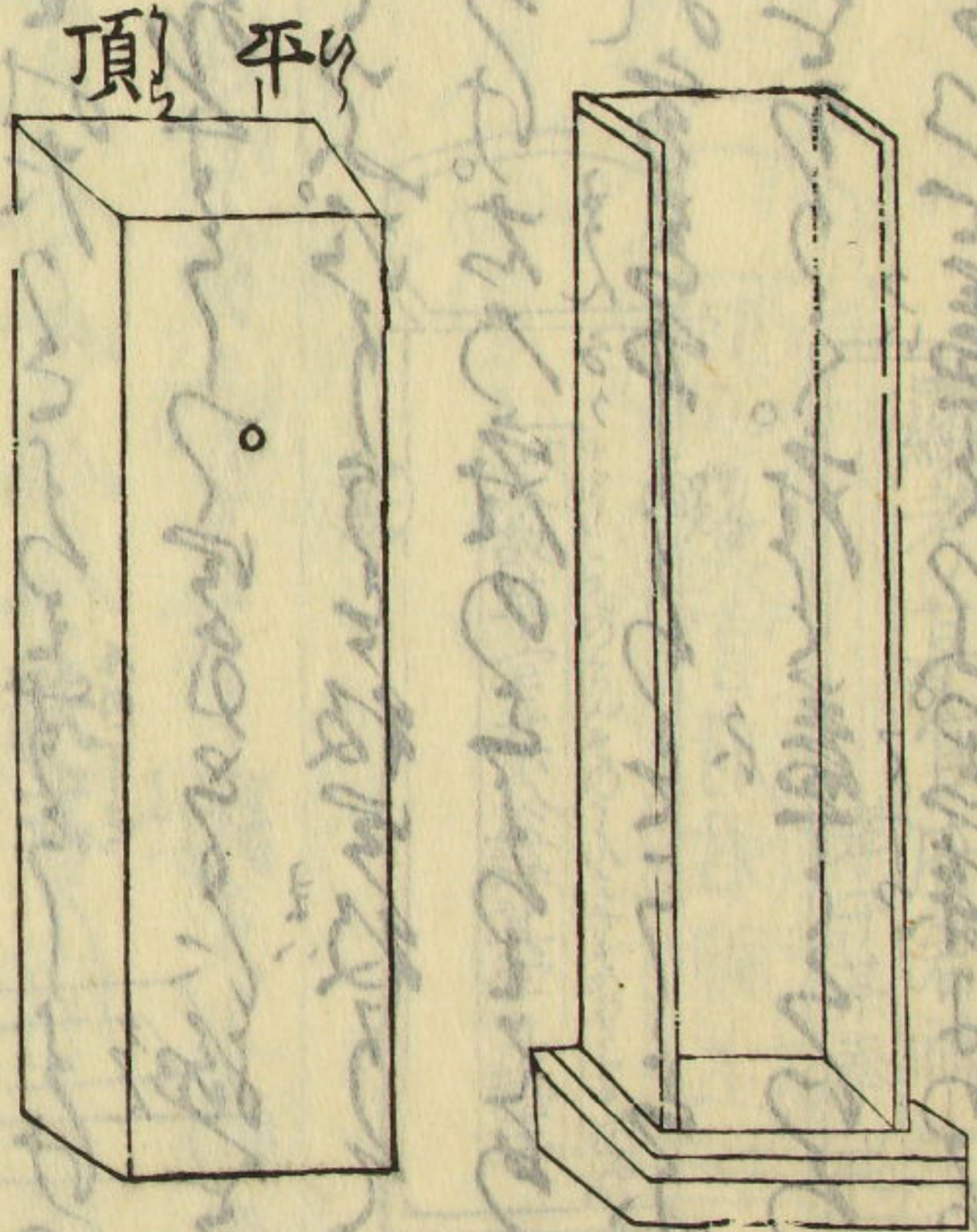
孫乃うまれたる時 右のちよひと申す。何と申す  
 と申す。いづれと申す。孫と申す。何と申す。松原  
 の外産子と申す。何と申す。祠堂へ参りて。何と申す  
 たり。大なる右のちよひと申す。何と申す。何と申す  
 此横つらと申す。何と申す。わが女と申す。産と申す  
 松原と申す。何と申す。何と申す。何と申す。何と申す  
 才七 神主の事  
 一 神主の位牌 何と申す。何と申す。何と申す。何と申す  
 たりと一尺二寸。何と申す。何と申す。何と申す。何と申す  
 分たり。首の裏角と申す。何と申す。何と申す。何と申す  
 あり。又と申す。何と申す。何と申す。何と申す。何と申す





式蓋の按座

ろくありしをせづくはらうごまあり

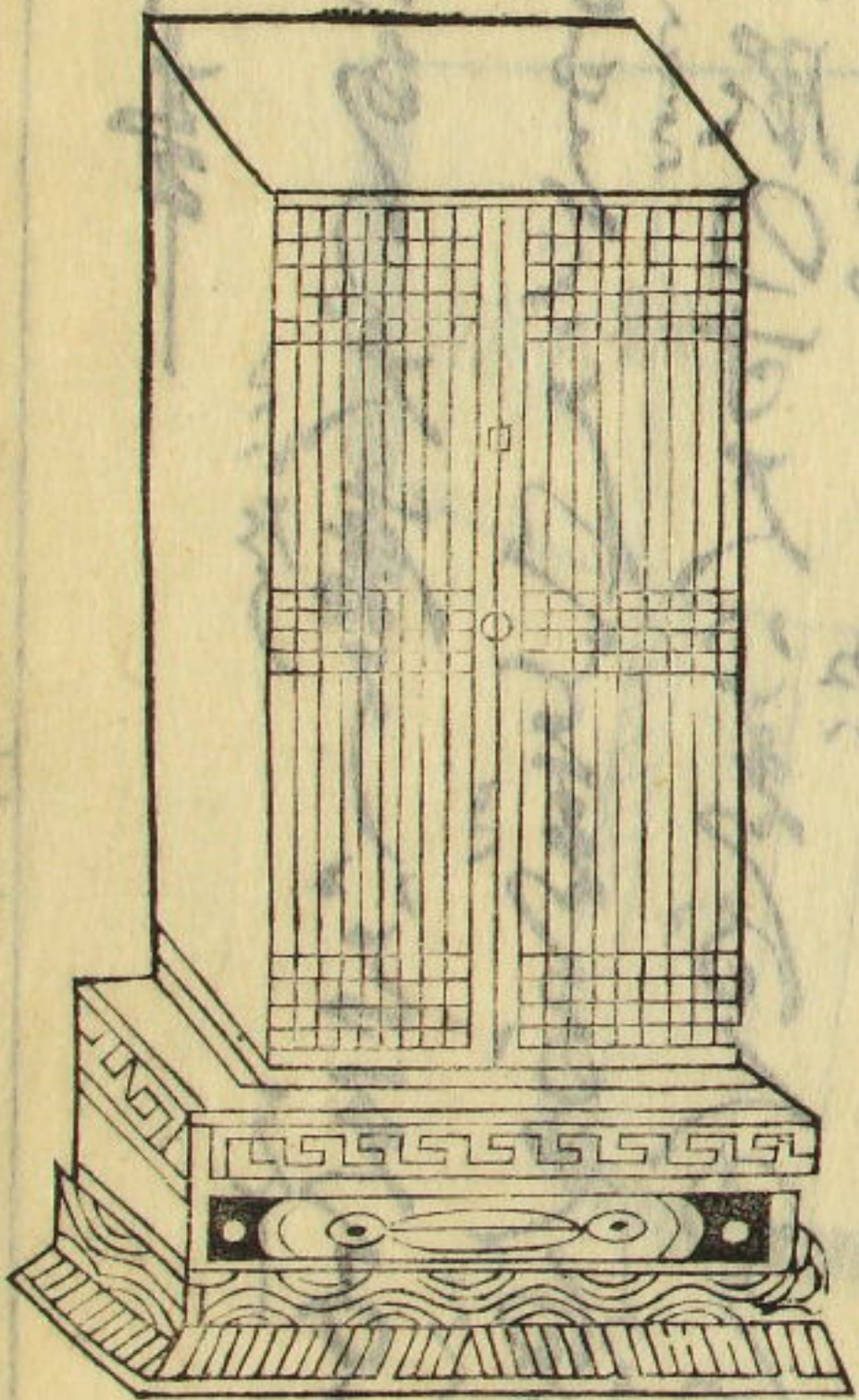


一横ハ右ノ座蓋ノ外ノあゝんは色アリ

才九横ノ事

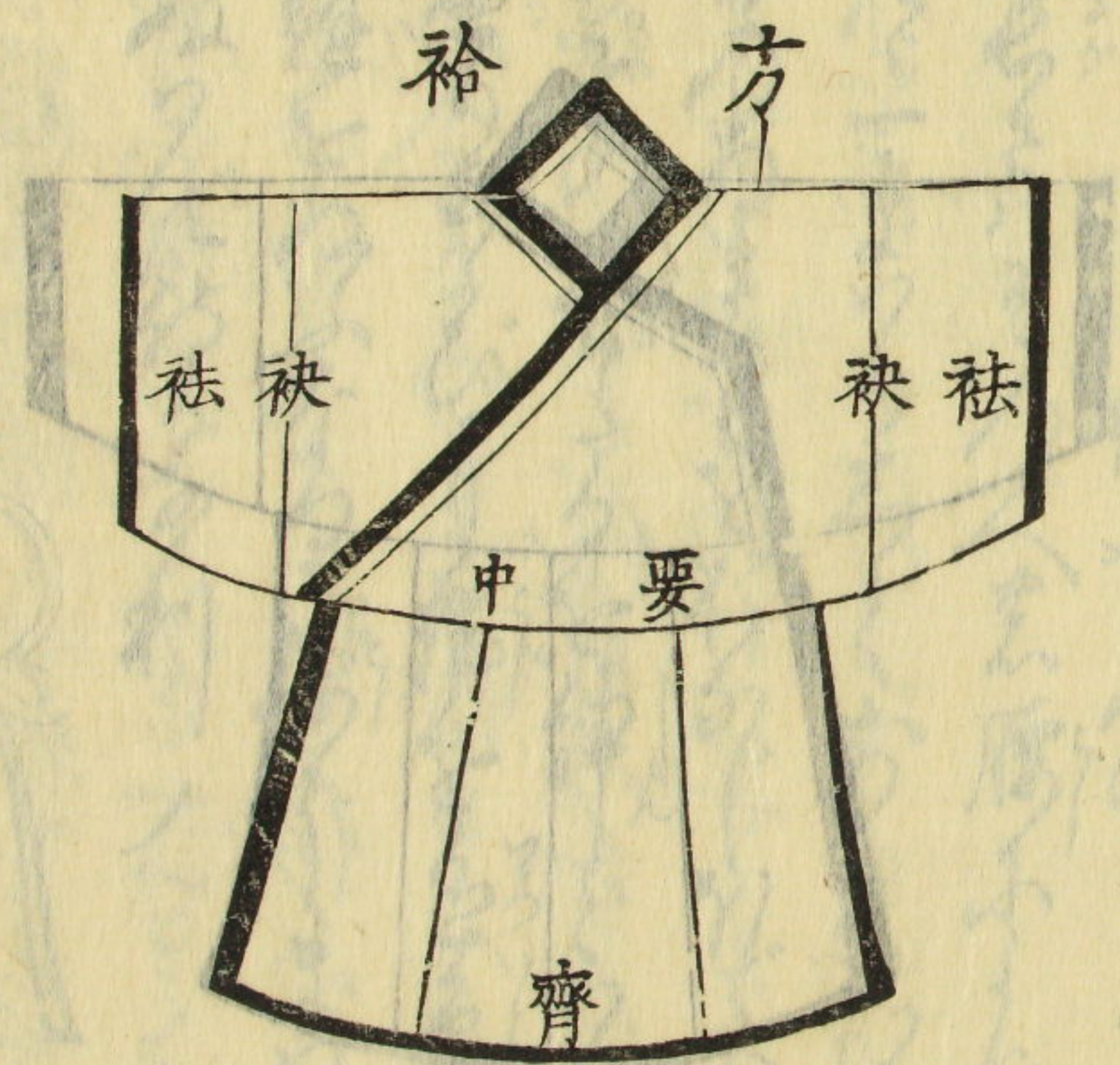
式横主藏

才九横ノ事  
はたしてはらうごまを板してこまありしをハ  
しや縁をつけあのみあはらうごまありしをハ  
戸と二まいけぐへは内右ノ神主座蓋とありハ  
にさかなく倉あり中へ入るやまらふあはらうごま  
あはらうごまありしをハたしこ中右ノ縁あり  
ふりあはらうごまはそらあひの縁ありしをハ  
さいまふゆふ





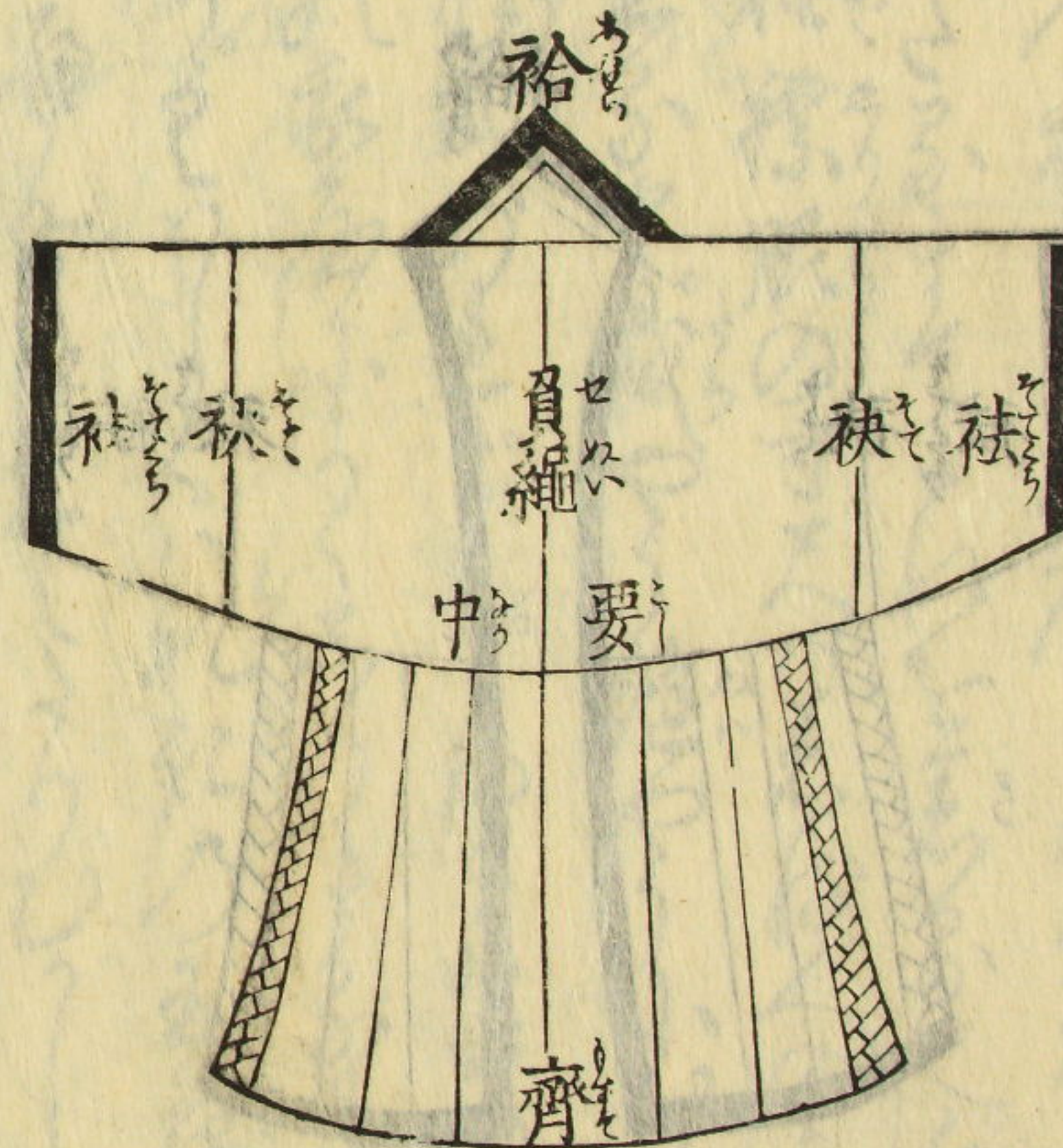
圖<sup>づ</sup> 裕<sup>の</sup> 掩<sup>の</sup> 衣<sup>の</sup> 深<sup>え</sup>



大和家礼

十八

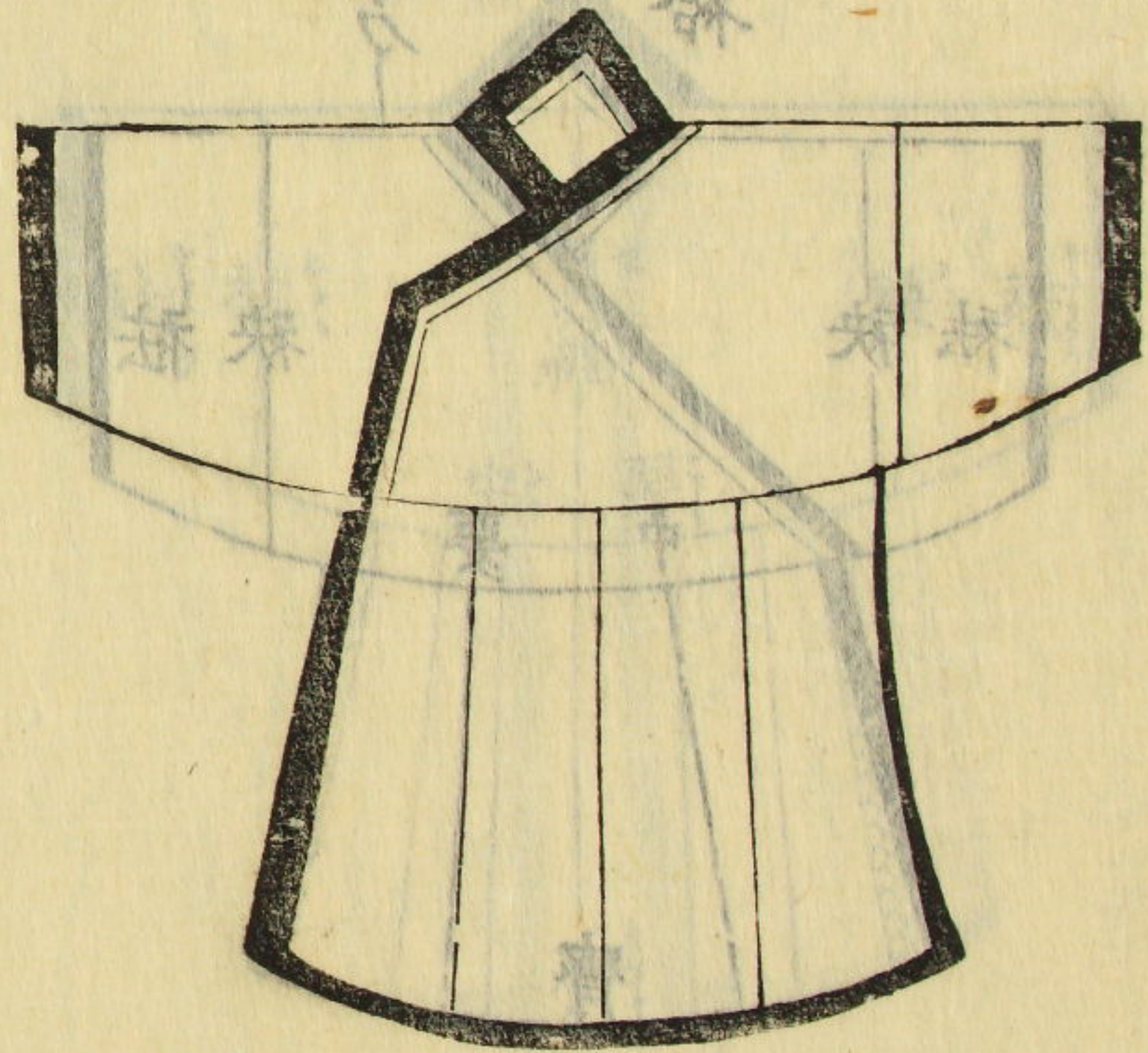
圖<sup>づ</sup> 後<sup>の</sup> 衣<sup>の</sup> 深<sup>え</sup>



大和家礼

十八

新擬深衣圖

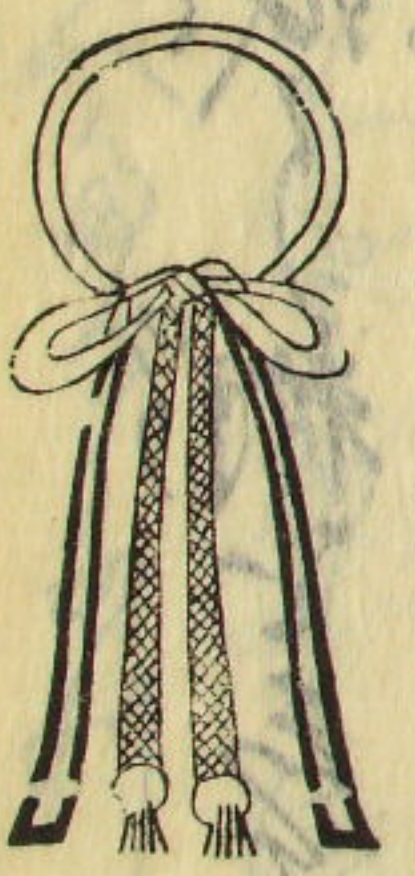


大和家

十六

大帯

一、大帯ハ、後帯あり。白絹又ハ、ぬのにてぬい  
 りせとふあり。長さハ、その人志願ふより  
 だまらざれば、一丈一尺の長くおまてむとび  
 じとひくぬ方乃、あまらむとむあ、けむあま  
 てむ、くあり。そのき、くを紳とて、あま  
 は紳、のあ、の、あ、び、り、帯、を、あ、ま、り、と  
 ち、り、の、け、り、帯、と、あ、ま、ら、む、を、あ、ま、り、と  
 ち、り、の、け、り、帯、と、あ、ま、ら、む、を、あ、ま、り、と



大和家

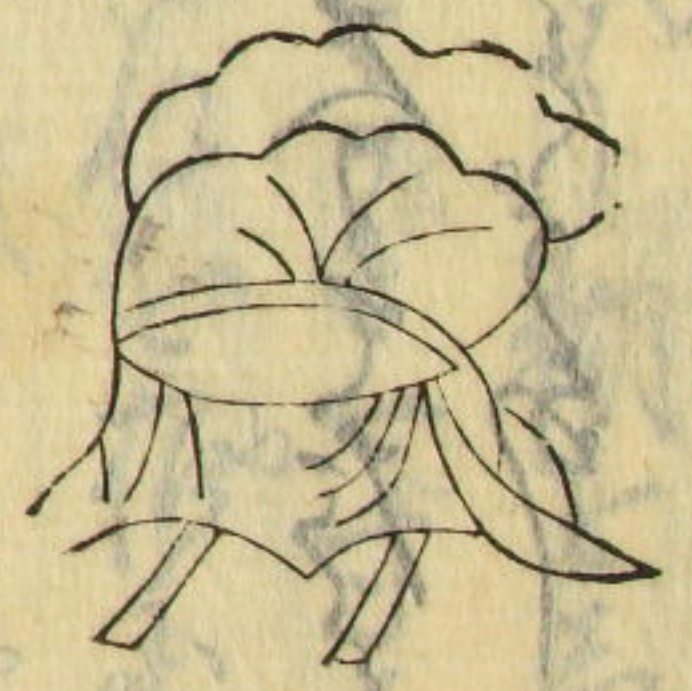
三





幅巾

才十三 黒履之巾  
 履ハシガ乃アスラシクあり。白布一ツセ修ラナ  
 二。修リヤウハ。その外ラウのト大ニ修メ  
 あり。大層ハ板敷トあり。中ニ  
 みる。或ハスラシク修メ。その外ラウのト大ニ修メ。中ニ



履の圖

履ハシガ乃アスラシクあり。白布一ツセ修ラナ  
 二。修リヤウハ。その外ラウのト大ニ修メ  
 あり。大層ハ板敷トあり。中ニ  
 みる。或ハスラシク修メ。その外ラウのト大ニ修メ。中ニ

